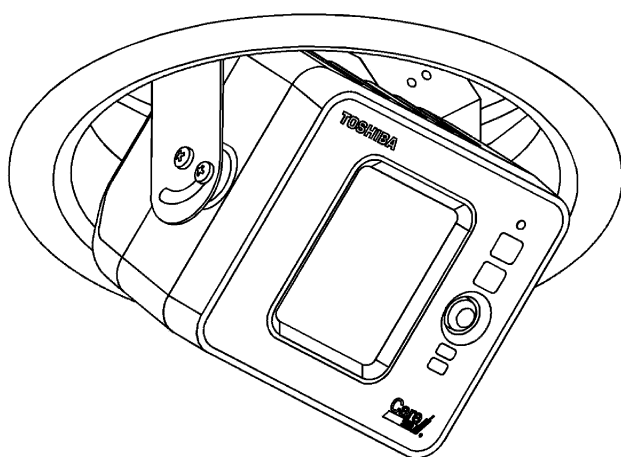


形名	UV-CU01007K-LS9
----	-----------------

このたびは東芝ウイルス抑制・除菌用UV照射器をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

UV照射器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。また、設置工事後、工事店様が「UVee設置確認・作業完了書」を登録していただいたお客様には当社の受領番号記載の「UVee設置確認・作業完了書」が送付されますので必ず保管ください。



目次

安全上のご注意	1
使用上のご注意	6
各部の名称	6
運転、点灯モード、表示の説明	7
自動スタート時刻の設定	9
人感センサー、近接センサーの動作	10
点灯表示／動作表示	11
トラブルシューティング	12
仕様	13

本装置をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。



ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管し、必要なときにご活用ください。

本装置および本装置を使用した製品、または本装置にかかわる技術は、「外国為替及び外国貿易法」の規定により、安全保障貿易管理関連貨物および技術に該当する場合があります。

「Care222」は、ウシオ電機株式会社及びUshio America, Inc.の商標または登録商標です。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前に、必ず「安全上のご注意」を最後までお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」では、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

■ 絵表示について

本書では、誤った取り扱いで生じることが想定される危害や損害の程度を、次のような絵表示を使用して区分けしています。内容をよく理解してから、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



「誤った取り扱いをすると人が死亡、または負傷を負う可能性が高いと想定されること」を示します。



「誤った取り扱いをすると人が死亡、または負傷を負う可能性が想定されること」を示します。



「誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があること」を示します。

各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制」をうながす絵表示が付いています。

絵表示の例



記号は、注意（警告を含む）をう促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止



記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



プラグをコンセントから抜く



記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 危険



禁止

本装置の近くでは、引火の恐れのあるものを使用しない

本装置の近くでは、薬品や酸素、水素などの可燃性および引火性の気体（液体）を使用しないでください。
発火、爆発の恐れがあります。



分解禁止

分解・改造しない

分解や改造をすると、落下や火災、感電、けがの原因となります。
内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。



濡れ手禁止

濡れた手で本装置の操作をしない

濡れた手で本装置の操作をすると、感電の原因となります。

⚠ 警告



禁止

使用中は本装置を紙や布で覆わない、密閉した空間で使用しない

本装置を覆ったり密閉すると内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

本装置に水や液体をかけない

水や液体が内部に入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や液体が入ったときは、すぐに主電源を切り、販売店までご連絡ください。



禁止

次のような場所では使用・保管しない

- 液体のかかる場所
- 水滴、水蒸気にさらされる場所（湿度が高い場所）
- ほこりの多い場所

上記のような場所や取扱説明書に記されている使用・保管条件以外の環境に設置すると、感電、負傷、故障、誤作動の原因となります。



禁止

誤った使用や乱暴な取り扱いはしない

ケーブルの断線などにより、やけどや火災など、思わぬ事故の原因となります。



禁止

除菌用途以外の目的では使用しない

本装置は、部屋の除菌を行うための装置です。
それ以外の目的に使用すると、思わぬ事故の原因となります。
本装置は医療機器として使用することはできません。



禁止

近接センサー送信部や受光部、人感センサーを紙や布で覆ったり、物を詰めたりしない

本装置はJIS Z 8812に定められている紫外線ばく露の許容量は、222 nmの場合、22 mJ/cm²（1日8時間）を超えないように近接センサーと人感センサーで制限しています。近接センサーと人感センサーが働かないと一日に浴びる紫外線の許容値を超える原因となります。



指示

異臭、煙が出たら、主電源を切る

異臭や煙が出たら速やかに使用を中止してください。火災や感電の原因となります。



指示

指定の電源電圧で使用する

指定外の電源電圧で使用すると火災や漏電の原因となります。



指示

照射窓にひび、割れが見られた場合には直ちに電源を切る

照射窓は、目や皮膚への影響が大きい紫外光をカットする役割をしています。

照射窓が割れた状態で使用すると有害な紫外光がもれて目や皮膚に障害を起こす恐れがあります。



手動運転モード利用時の電源操作について

本装置はJIS Z 8812に定められている紫外線ばく露の許容量は、222 nmの場合、22 mJ/cm²（1日8時間）を超えないようにタイマーによって紫外線量を制限しています。停電などで電源が遮断された場合に、電源を復帰するとタイマーがリセットされ1日に浴びる紫外線の許容量を超える場合があるので、そのまま電源を復帰せずに、指定時刻に復帰するようにしてください。

⚠ 注意



禁止

規格以上の紫外線を人に照射しない

JIS Z 8812では紫外線ばく露の許容量は、222 nmの場合、22 mJ/cm²（1日8時間）を超えないように定められています。運転設定時に想定した照射窓から人までの距離よりも接近して作業する場合は、長そでなどで皮膚を、ゴーグルなどで眼を保護するようお願いいたします。



禁止

次のような場所では使用・保管しない

- 熱源の近くや、直射日光が当たる場所
- 電力の供給が不安定で、電源電圧が異常に変動する場所
- 塩分、硫黄分などを多く含んだ空気にさらされる場所
- 振動、衝撃がある場所、床が水平でない場所および不安定な場所
- 強電界、強磁界、高周波を発生する装置の影響のある場所
- 屋外や軒下などの湿度、水気のある場所
- 直接、雨・風にあたる場所
- 粉塵の発生する場所（工場やトンネル内にある駅ホーム等）
- 腐食性ガス・塩素ガス・硫黄成分などの発生する場所
- オイルミストが発生する場所
- 周囲温度が 5℃～40℃の範囲を超える場所
- 紫外線検知式炎センサが近くにある場所



禁止

本装置に強い衝撃を与えたり、落としたりしない

本装置に強い衝撃や振動が加わると、破損、故障してけがの原因となります。



禁止

照射窓を触ったり、物を置かない

故障や思わぬ事故の原因となります。



指示

動作表示LEDが赤色に点滅したときは、電源スイッチを切る

無負荷、出力過電流、インバータ温度超過を検知すると動作表示LEDが赤色で点滅します。そのまま使用しますと感電、故障の原因となります。



指示

本装置の使用には適切な指導をする

経験、知識の不足した人（子供を含む）などは適切な指導なしに装置を使用しないでください。子供が装置で遊ばないようにご注意ください。



光過敏の方に関して

紫外線の皮膚における吸収特性から、222 nmの光線過敏の方への影響は、太陽光に含まれる紫外線を浴びた場合より少ないであろうと考察されますが、光過敏を有する方には長そでや帽子など、日頃の紫外線対策と同様の対応をお願いします。



妊娠されている方に関して

妊娠されている方は一般に紫外線に対して肌が敏感になる傾向にあると言われています。妊娠されている方は長そでや帽子、日焼け止めクリーム等、日頃の紫外線対策と同様の対応をお願いします。



装置からの光を直視しない

他の照明器具と同様に近距離での直視は避けてください。（目に違和感が起きる可能性があります）



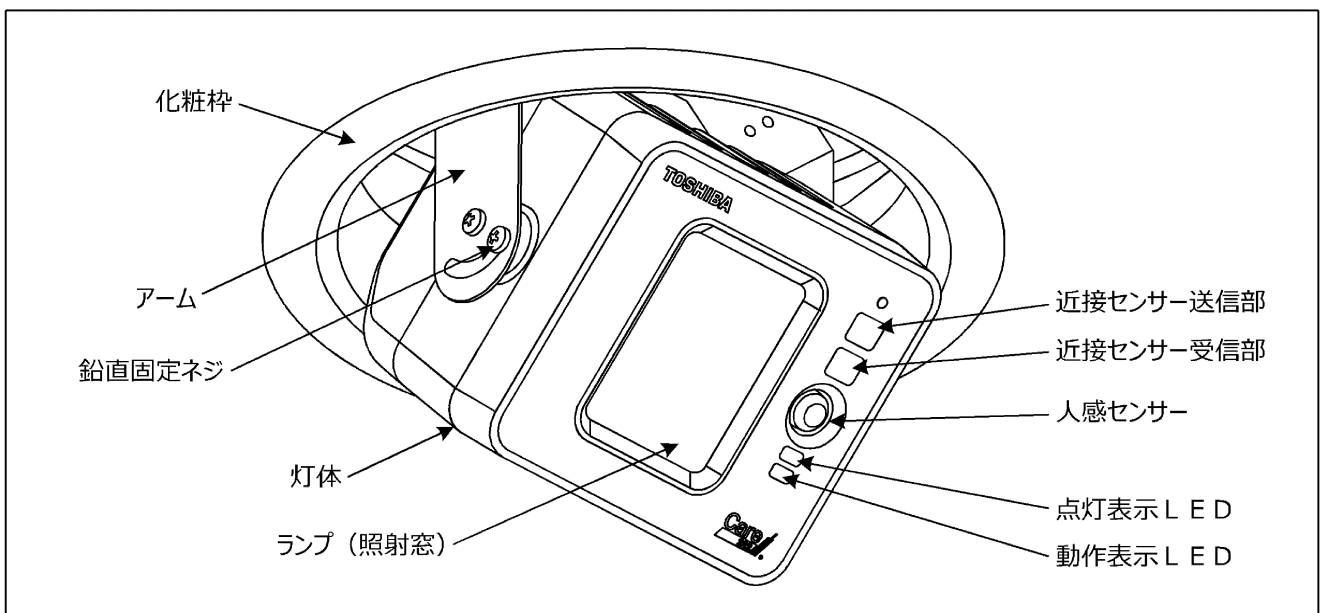
装置の紫外線放射に関して

IEC 62471に定められるリスク分類では免除グループとなるよう設計しておりますが、照射窓が破損すると有害な紫外線が漏れ目や皮膚に障害を起す恐れがありますので電源をお切りください。

2. 使用上のご注意

- ・壁、家具やカーテンなどから 10 cmの距離を空けてください
装置内部の温度が上がり、装置の寿命が短くなることがあります。
- ・近距離で壁紙、樹脂製品に照射しないでください
紫外線は壁紙、樹脂製品などを劣化させます。近距離で照射すると急激に変色する恐れがあります。
- ・照射によりにおいが発生することがあります
照射中ににおいが発生することがありますが、人体に害となる成分のにおいではありません。
照射中にオゾン臭が発生することがありますが、微量であるため人体に害となることはありません。
においで気分が悪くなった場合には、直ちに使用を中止し専門医にご相談されることをお勧めします。
- ・紫外線により塗装表面が劣化することがあります
長期間の紫外線照射により、塗装面にチョーキング（塗装表面が粉状になる現象）が発生する可能性があります。性能に影響はありません。
- ・ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく本機器から離してご使用ください
雑音が入る場合があります。
- ・本装置内部から音が発生することがあります
点灯直後・消灯直後に「ピシ、ピシ」、「ブツ、ブツ」等のプラスチックの収縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
- ・お手入れの際は、以下を守ってください
必ず電源をお切りください。
金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。
ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。
照射窓面が汚れたら、きれいな柔らかい布などに中性洗剤を薄めた水を含ませて軽く拭き取った後、乾いたきれいな柔らかい布などで水分を拭き取ってください。
- ・紫外線センサーを用いた火災警報器の近くで使用しないでください
紫外線センサーを用いた火災警報器は、微少な紫外線に反応するため本装置をこの種の警報器の近くで使用すると警報器が誤作動することがあります。
- ・紫外線を植物に照射しないでください
植物は紫外線に対して敏感です。植物の種類によっては、葉がしおれ、枯れてしまうことがあります。

3. 各部の名称



4. 運転、点灯モード、表示の説明

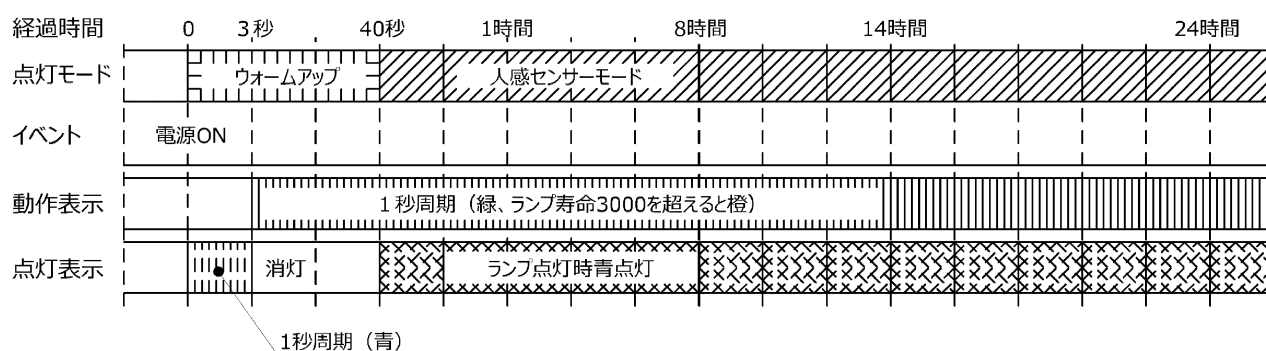
本装置には、人感センサー運転、手動運転、自動運転の3種類の運転が選択できます。また、手動運転、自動運転は照射窓と人までの距離に応じて4段階の照射パターンが用意されており、計9種類の設定ができます。ここでは、人感センサー運転、手動運転、自動運転、人感センサー運転で電源ONから点灯モード、動作表示LED、点灯表示LEDの表示状態を時系列で説明します。設定されている設定スイッチのNo.は、取扱説明書p.13をご参照ください。不明な場合は設置した工事店様へご確認ください。

(1) 運転の説明

・人感センサー運転（設定No.0）

用途：無人環境でのみ点灯する場合

主電源およびON/OFFスイッチをONにすると、人感センサーモードを続けます。



人感センサーモードでは、人感センサーが不在検知してから 15秒点灯、60秒消灯の点滅動作を 2時間行い消灯します。

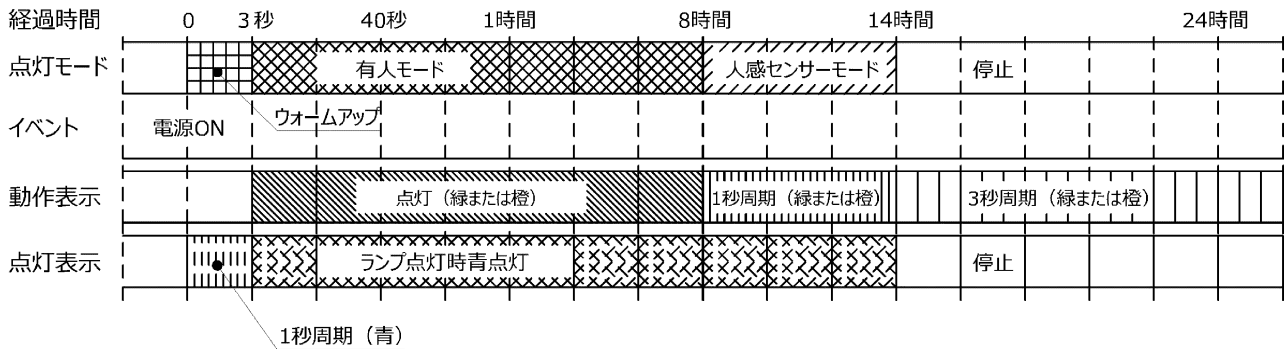
ただし、人感センサーが検知中は消灯します。

また、主電源および ON/OFF スwitchをONにしてから 40秒間はウォームアップを行いますので、消灯しています。

・手動運転（設定No.1～4）

用途：有人環境で任意の時刻に手動で点灯開始させる場合

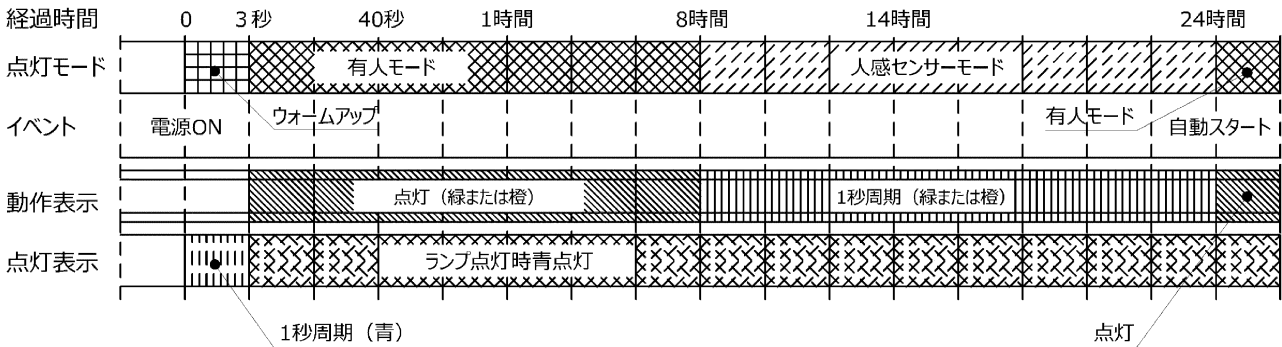
主電源をONにすると、最初の 8 時間は有人モード、その後 6 時間を入感センサーモードで動作し、動作停止 します。停止後 は主電源を入れなおさない（電源を OFFし、再度電源 ONにする）と動作しません。



・自動運転（設定No.6～9）

用途：有人環境で前日と同時刻に自動で点灯開始させる場合

主電源投入後、有人モードを 8 時間行い、人感センサーモードを 16 時間行った後、同時刻に有人モードに戻る運転を 24 時間 周期で 繰り返します。



有人モード

人感センサーが不在を検知中は、15秒点灯、30秒消灯の点滅動作を 2 時間行い、消灯します。

人感センサーが検知中は、15秒点灯し、窓面との距離に応じた時間（下表参照）消灯の点滅動作を続けます。

照射窓面と人の距離 (m)	消灯時間 (秒)
1.0～1.29	約350
1.3～1.59	約200
1.6～1.99	約130
2.0	約80

人感センサーモード

人感センサーが不在検知中は、15秒点灯、30秒消灯の点滅動作を 2 時間行い消灯します。

ただし、人感センサーが検知中は消灯します。

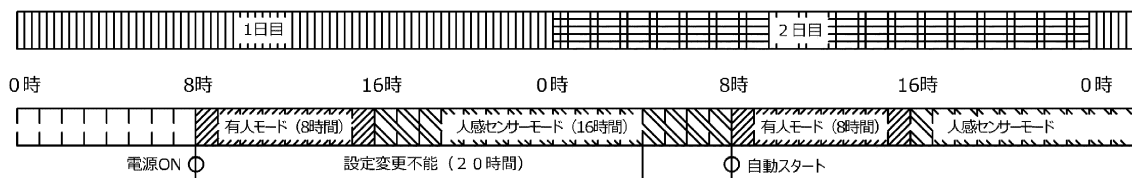
5. 自動スタート時刻の設定

自動運転中は、主電源を入れなおす（OFF→ON）ことで自動スタート時刻の変更ができます。

ただし、本装置はJIS Z 8812に定められている紫外線ばく露の許容量は、222 nmの場合、22 mJ/cm²（1日8時間）を超えないようにタイマーによって紫外線量を制御しており、変更の際には以下に注意してください。また、有人モードの開始時刻がずれている場合は下記に従って修正してください。

(1) 最初に主電源を入れたとき

例. 最初に 8時に主電源を入れた場合



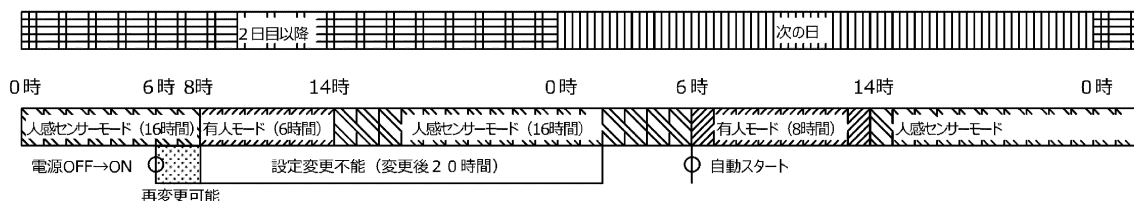
<注意事項>

主電源ONして20時間は、主電源を入れなおしても自動スタート時刻の変更はできません。

設定した自動スタート時刻で毎日繰り返し運転します。

(2) 自動スタート時刻を早めるとき ※1

例. 8時から 6時に変更する場合



<注意事項>

電源を入れなおしても、すぐに有人モードになりません。人感センサーモードを継続いたします。

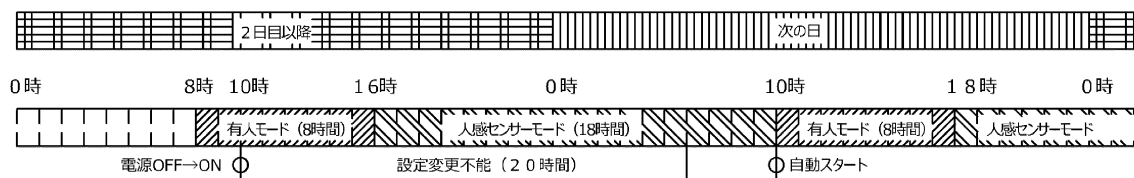
これは、紫外線照射の許容量（22 mJ/cm² 1日8時間）を超えない設定です。

翌日から、自動スタートで再設定した時刻に有人モードで自動運転が始まります。

また、前日スタート時刻前までに電源を入れ直した場合は、再度変更します。

(3) 自動スタート時刻を遅らせるとき ※1

例. 8時から 10時に変更する場合



<注意事項>

電源を入れなおしても前日と同じ時刻に有人モードが終了します。

これは、紫外線照射の許容量（22 mJ/cm² 1日8時間）を超えない設定です。

翌日から再設定した自動スタート時刻が反映されます。

(4) 長期間使用していないときや停電があったとき

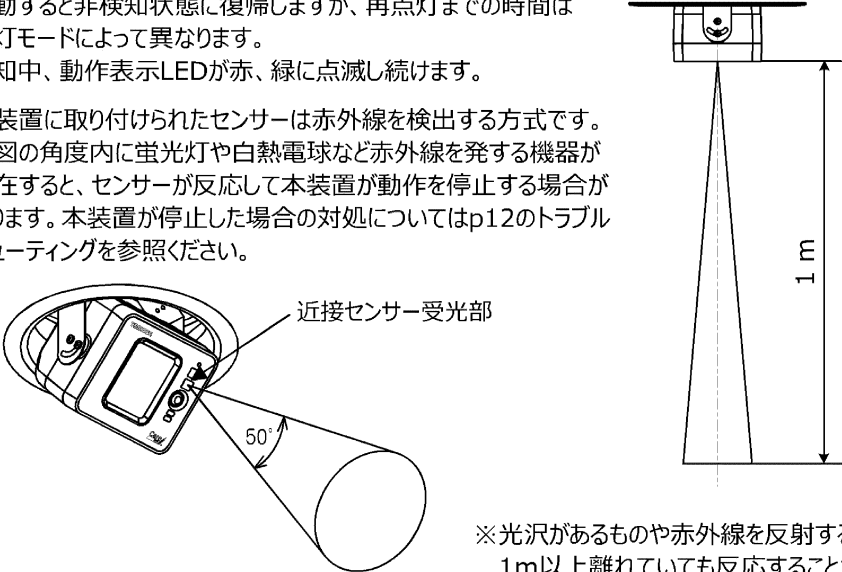
長期間使用していないときや停電があったとき、自動スタート時刻の設定が電源の復帰した時刻に変更されてしまいます。

この場合は、(2) または (3) を行い自動スタート時刻の再設定が必要です。

※1 「自動スタート時刻を遅らせるとき」とは、有人モード時間内で変更したことを指します。

人感センサーモードにて変更した場合は、「自動スタート時刻を早めるとき」の動作となります。

6. 近接センサー、人感センサーの動作

<p>近接センサーの動作</p>	<p>本装置の正面から 1 m の距離に入った物体を検知します。検知後ただちにランプを消灯させます。検知エリアから物体が移動すると非検知状態に復帰しますが、再点灯までの時間は点灯モードによって異なります。検知中、動作表示LEDが赤、緑に点滅し続けます。</p> <p>本装置に取り付けられたセンサーは赤外線を検出する方式です。下図の角度内に蛍光灯や白熱電球など赤外線を発する機器が存在すると、センサーが反応して本装置が動作を停止する場合があります。本装置が停止した場合の対処についてはp12のトラブルシューティングを参照ください。</p>  <p>※光沢があるものや赤外線を反射するものは 1m以上離れていても反応することがあります。</p>
<p>人感センサーの動作</p>	<p>高さ 3 m で直径約 8 m の範囲で人を検知します。検知範囲は灯体の照射方向に応じます。</p> <p>本センサーは赤外線（熱）の動きを検知する方式となっています。このため、赤外線の動きがあると人以外でも以下のような場合は検知する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラインドに反射した太陽光がセンサーに入射した時 ・空調からの温風または冷風が直接当たった時 ・窓際に設置された棚に反射して太陽光がセンサーに入射した時 ・人以外の熱源が検知エリア内を移動した時 ・小動物などの熱源が検知エリアを移動した時 ・気温変化等、周囲環境の影響を検知した時 <p>静止した人は検知できません。また、動きがほとんどない場合も検知しない場合があります。夏場など周囲温度が体温に近い場合は、感度が鈍くなる場合があります。検知範囲の端部では、検知範囲内であっても検知確度が鈍くなる場合があります。</p> 

7. 点灯表示／動作表示

	動作	点灯状態	表示位置	
点灯表示 LED	ランプ点灯	青点灯		
	ランプ消灯	消灯		
	起動時（電源投入時）	青点滅（1秒周期）※1		
動作表示 LED	異常発生時	赤点滅（1秒周期）		
	近接検知（検知中）	赤緑交互（各1秒）※2		
	累積点灯時間 <3,000h	有人モード		緑点灯
		人感センサーモード		緑点滅（1秒周期）
		消灯（手動運転）		緑点滅（3秒周期）
		起動（電源投入時）		消灯 ※1
		近接検知（復帰まで）		緑点滅（2秒周期）
	累積点灯時間 >3,000h ※3	有人モード		橙点灯
		人感センサーモード		橙点滅（1秒周期）
		消灯（手動運転）		橙点滅（3秒周期）
		起動（電源投入時）	消灯 ※1	
近接検知（復帰まで）		橙点滅（2秒周期）		

※ 1 起動時に人感センサー運転時は 40秒間、手動運転時、自動運転時は 3秒間のウォームアップ後に運転を開始します。

※ 2 近接検知終了後 3秒間は、赤緑交互点灯を維持します。

※ 3 この表示が出た際にはランプ交換をお願いします。

8. トラブルシューティング

症状	考えられる原因と確認いただきたいこと
①動作表示LEDが点灯しない	ON/OFFスイッチがONになっていない。 ・灯体背面のON/OFFスイッチがONになっていることを確認してください。 (詳しくは施工説明書を確認ください。)
	以下により、本装置内部が断線、破損している可能性があります。 ・仕様外の環境で使用や保管をしてしまった。 ・本装置に液体をこぼしてしまった。 ・本装置が落下してしまった。 ・本装置に強い力を加えてしまった。 販売店へお問い合わせください。
②点灯表示LEDが点灯しない UVランプが点灯しない	動作表示ランプの色を確認してください。 ・赤色の場合⑤を確認してください。 ・赤、緑が交互に点灯している場合③を確認してください。 ・緑色または橙色に点灯または点滅している場合④を確認してください。
③近接センサーが反応し続ける 赤緑が交互に点灯し続ける	1 m以内に壁や障害物がある場合は1 mより離して使用してください。 障害物を除去して主電源を入れなおしても、症状が改善しない場合は故障の可能性 があるため販売店へご相談ください。
④人感センサーが反応し続ける 動作表示LEDが緑色に点滅して いるが点灯表示LEDが点灯しない	本センサーは赤外線の変動を検知する方式となっています。このため赤外線の変動があ ると人以外でも検知する場合があります。詳しくは、「6. 近接センサー、人感センサーの 動作 (p.10)」をご参照ください。 主電源を入れなおしても、症状が改善しない場合は故障の可能性があるので販売店 へご相談ください。
⑤動作表示LEDが赤色点滅する	以下の原因が考えられるため、主電源を入れなおしてください。 ・動作エラー：設置直後や長期間ご使用にならなかった場合、動作が不安定になり エラーとなることがあります。 ・センサーのエラー：センサーは赤外線の変化を検出する方式です。太陽光や蛍光 灯、白熱電球などの光が機器に照射されている、赤外線を発する機器が近傍に ある場合、ブラインドやカーテンで遮光する、蛍光灯や白熱電球を一旦消灯する、 または赤外線を発する機器の電源を切ったのち、主電源を入れなおしてください。 上記で改善されない場合は、以下の原因が考えられるため販売店へご相談ください。 ・センサー機能が誤動作している。 ・ランプ不点、本装置内部の故障、本装置の寿命。 ・使用温度範囲を超えて使用してしまった。
⑥自動スタートの開始時刻が設定 時間からずれている	内部タイマーがずれている可能性があります。 「5. 自動スタート時刻の設定 (p.9)」に従って、開始時刻を修正してください。

故障について

装置に問題がありましたら、販売店にご相談ください。

動作表示LEDが赤色に点滅している場合は、本装置に異常が発生しています。

主電源を入れなおしても、動作表示LEDが赤色に点滅する場合は販売店へご相談ください。

ランプ寿命時の交換について

以下の症状がでましたら、ランプ寿命のため灯体の交換をお願いします。

・動作表示LEDが橙色に点灯または点滅した場合

・内蔵するランプが1本だけでも消えた場合

灯体の交換は販売店にご相談ください。

9. 仕様

形名	UV-CU01007K-LS9
紫外線放射照度 ※1	2.5 mW/cm ²
光源	222 nm 紫外線ランプ
電源電圧 (V)	100 / 200 / 240
消費電力 (W)	19.3 / 19.5 / 19.9
使用環境	温度： 5 °C～40 °C 湿度：5%～85% (結露なきこと)
保管環境	温度： -10 °C～60 °C 湿度：5%～85% (結露なきこと)
運転設定	人感センサー運転、手動運転、自動運転から選択 ※2

※ 1 弊社標準環境において照射窓から50 mmの位置の数値。

※ 2 運転設定は設置時に工事店が行います。

使用環境によっては、紫外線放射照度の値が変化する可能性があります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

除菌に対する具体的な効果および根拠はカタログまたはリーフレットをご参照ください。

運転設定 (販売店様へ、設定が完了したらチェック願います。)

チェック	設定 No.	運転設定	説明
	0	人感センサー運転	
	1	手動運転	照射窓からの距離1.0～1.29 m
	2	手動運転	照射窓からの距離1.3～1.59 m
	3	手動運転	照射窓からの距離1.6～1.99 m
	4	手動運転	照射窓からの距離2.0 m以上
	6	自動運転	照射窓からの距離1.0～1.29 m
	7	自動運転	照射窓からの距離1.3～1.59 m
	8	自動運転	照射窓からの距離1.6～1.99 m
	9	自動運転	照射窓からの距離2.0 m以上

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
携帯電話 046-862-2772 (通話料：有料)
FAX 0570-000-661 (通信料：有料)
ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証について

- ・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**
- ・ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ・保証期間中は、**「お買い上げ日を特定できるもの」**を添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック商品ご相談センターにお問い合わせください。
- ・その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- ・修理のため取外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ・補修用性能部品の保有期間
弊社はUV照射器の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

東芝ライテック株式会社 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お読みになったあとも必ず保管してください

001UV2D